

林業をまなぶ人を
和歌山県が応援!!

使わないと損

最大142万円が
給付される制度
を知っていますか?



きいちゃん
和歌山県PRキャラクター



キノピー
紀の国ふるさとづくりマスコットキャラクター
紀の国森づくり大使

和歌山県

緑の青年就業準備支援給付金

緑の青年就業準備給付金とは

交付額

最大 **142万円**

人・年間(11か月)

和歌山県では林業への就業をめざす人に向けたサポートとして、和歌山県農林大学校 林業研修部 林業経営コースにおいて必要な知識等を習得する研修生を対象に、1年間の研修生活に必要な資金を支援しています。※年齢要件等あり

これは平成25年度に林業就業希望者の裾野拡大を図るとともに、林業事業体等の経営活性化を図る観点から創設された国の制度を活用したものです。



申請方法

和歌山県緑の青年就業準備給付金は**申請者の年齢により、「青年コース」と「支援コース」に分けられます**(詳しくは右ページをご確認ください)。資格や返還条件をよく確認したうえで申請してください。

申請期間

和歌山県農林大学校林業研修部へ入講後に申請

問い合わせ

和歌山県農林水産部 森林林業局林業振興課 TEL:073-441-2991

和歌山県農林大学校 林業研修部ってどんなところ?

和歌山県農林大学校 林業研修部には、新規就業希望者向けの「林業経営コース」と、林業従事者向けの「スキルアップコース」の2つがあり、**給付の対象となるのは「林業経営コース」のみ**です。



Instagramで
研修風景を見れます！



**以下資格を有し、林業への就業に向けて和歌山県農林大学校林業研修部
林業経営コースで研修を受ける者が給付の対象となります。**

資
格

- ① 林業分野への就業予定時の年齢が、
原則として **青年コース: 満45歳未満**
支援コース: 満45歳以上～満55歳未満 であり、
将来的には林業分野の中核を担うことについて強い意欲を有している者であること
- ② 常勤の雇用契約を締結していない者であること
- ③ 生活費の確保を目的とした国又は和歌山県の他の事業による給付等を現に受けている者でないこと
- ④ 過去に給付金を受けた者でないこと
- ⑤ 研修修了後1年以内に林業分野への就業を希望している者であること
- ⑥ 国税、都道府県税及び市町村税に未納がないこと

以下のような状況だと認められた場合、給付金は返還となります。

返
還
条
件

- ① 適切に研修を受講していない場合
- ② 研修修了後、1年以内に林業分野への就業をしなかった場合
- ③ 林業分野 **青年コース: 県内外問わず**
支援コース: 県内に限る へ2年以上継続して就業しなかった場合
- ④ 研修修了後の、就業報告等を適切に行わなかった場合
- ⑤ 虚偽の申請又は報告等を行った場合

林業経営コース

林業への新規就業希望者を対象としたコースです。
1年間の研修を通じて、林業に必要な資格や技術の習得をめざします。

定 員	10名	特 長	① 少人数グループでの密度の濃い実技研修 ② 架線式グラップル等の最先端機材での研修 ③ 追加費用なしで14の資格取得が可能 ④ 各種の給付金を必要経費に充当できる ⑤ 徹底された安全教育(特にチェーンソー) ⑥ 豊富な情報と研修で職場選びをフォロー ⑦ 同期の仲間とのつながりを構築できる ⑧ 諸経費の一部に対する補助もあります(詳細はお問合せ下さい)
研修期間	1年(約210日)		
授業料	120,100円/年		
諸経費	150,000円程度		
インターシップ	10月から30日間程度		

私たちは給付金を使いました



田中 仁海さん

(和歌山農林大学校林業研修部林業経営コース R6年度修学)

●林業に興味を持ったのは？

重機やトラックが好きだったことから両立できる仕事がないかと考えていたところ、テレビ番組で林業の紹介を見て、一気に関心が高まりました。

●給付金をどう使いましたか？

主に生活費と学費に使いました。貯金と週末だけしていたバイトの収入もありましたが、この給付金がないと貯金が尽きていたので本当に心強かったです。

●今と、これからの自分

頑張ってもできないことは素直に助けを求める。そうやって一歩ずつ経験と場数を重ねて自信をつけ、上司からもこの人なら任せられると思ってもらえるようになりたいです。



久保田 遊己さん

(和歌山農林大学校林業研修部林業経営コース R4年度修学)

●林業に興味を持ったのは？

和歌山への移住を考える中での職探しで出会ったのが林業でした。農業や炭焼きなども考えましたが、チェーンソーや草刈機といった機械と体力があればできる林業は手軽だなと思ったのが最初の印象でした。

●給付金をどう使いましたか？

私の場合は妻と子ども3人の家族で移住したので、やはり生活費がメインでした。給付金があったことで生活面がとても助かりました。

●今と、これからの自分

森林組合の造林班で働きながら、現場のスピードや正確さなど、学校では学べない部分を実地で学んでいるところです。これからも体が動く限り現場で長く続けていきたいです。

